

◆テーマ5 ～学びあうコミュニティの創出と支援者育成プログラム～ 評価委員氏名【 】

	評価項目	自己評価(記述)	評価委員による評価	A～Dの 記号を 記入	評価理由 (具体的に御記入ください)
地域連帯力をつくる	(1)地域住民同士の世代間交流、協力体制などを図っているか。	地域での実践(講座、諸集会、会議等)の中で、子どもから高齢者までの世代間交流や協力体制を図ることができた。	A 十分に図っている B 概ね図っている C やや不十分に感じられる D 抜本的な見直しが必要		
	(2)地域の各種団体やNPO等との連携、協働はできているか。	地域での実践の中で、各種団体との連携、協働体制を強化することができた。NPOとの連携・協働については、公民館利用者アンケート調査等で連携、協働を図ったが、それ以外の部分では十分に連携できなかった。	A 十分にできている B 概ねできている C やや不十分に感じられる D 抜本的な見直しが必要		
地域教育力の向上	(3)地域の資源(人材、史跡、企業等)を活用する場を提供できているか。	地域での各種会議において、住民自身に進行や板書等の役割を担ってもらったり、事業の内容を一緒に考える機会を設けるなど住民の参画を推進し、地域の資源(主に人材)を活かす場の提供を積極的に行った。	A 十分に提供できている B 概ね提供できている C やや不十分に感じられる D 抜本的な見直しが必要		
	(4)地域人材の発掘、育成をねらいとした取り組みを行なっているか。	地域活動の支援者としての公民館職員の意識の高揚を図り、地域の各種会議、公民館講座において、地域住民の出番を設けたり役割を担ってもらうなどして、地域の人材発掘、育成を行った。	A 充分に取り組んでいる B 概ね取り組んでいる C やや不十分に感じられる D 抜本的な見直しが必要		
課題解決力を高める	(5)地域課題の把握、解決に向けた取り組みを行っているか。	地域課題を把握し、解決に向けた取り組みを進めるために、公民館利用者アンケート調査の実施、地域診断プログラムの研究に取り組んだ。	A 様々な事業に関連づけて取り組んだ B 複数の事業で取り組んだ C 1事業で取り組んだ D 全く取り組んでいない		
	(6)地域課題解決のための学習の場を提供し、住民の意識や活動の変容へとつながっているか。	公民館による地域課題解決のための学習の場の提供は、12館で取り組みを行うことができた。地域課題の解決に対する住民の意識や活動の変容は、公民館との関わりの中で少し見られた。	A 充分に変容が見られる B 少し変容が見られる C あまり変容が見られない D 抜本的な見直しが必要		
情報発信力を高める	(7)本事業について、充分に広報できているか。(特に、地域への発信は充分にできているか。)	各公民館では、それぞれの取り組みについて、公民館だより、地域連携協議会、まちづくり協議会等での情報発信を行った。	A 充分に発信できている B 概ね発信「できている C やや不十分に感じられる D 抜本的な見直しが必要		

	評価項目	自己評価(記述)	評価委員による評価	A~Dの記号を記入	評価理由 (具体的に御記入ください)
総合評価	(8) 当初設定した事業の目標・目的は達成されているか。	<p>◆地域活動支援者としての公民館職員の意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修成果を地域活動支援に活かしたい(9月アンケート;48.5%)</li> <li>・研修成果を実践した(3月ヒアリング;71.0%)</li> <li>・研修成果を活用した会議・講座の開催(目標50回⇒実績68回)</li> </ul> <p>◆地域コミュニティの再生や地域課題解決の支援に取り組む公民館を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題解決に取り組んだ公民館の数(目標2館⇒実績12館)</li> </ul> <p>◆積極的に地域活動に参画する住民の割合を5%アップ(取り組み校区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル地区嘉瀬校区(目標5%アップ⇒実績10.8%アップ)</li> </ul>	<p>A 十分に達成している</p> <p>B 概ね達成している</p> <p>C やや不十分に感じられる</p> <p>D 抜本的な見直しが必要</p>		
	(9) 事業全体を通して、十分な成果は得られたか。	<p>1 持続可能な地域課題の支援を図ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館職員研修の学習成果の還元として、地域ワークショップ等でのファシリテートの実践や「会議運営」の手法を使った会議・講座を開催するなど、地域活動支援に対しての職員意識が向上し、行動や実践へとつながった。</li> </ul> <p>2 地域課題に取り組む団体の育成と関係機関とのネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題の解決に取り組む地区が増加し、住民の意識の変化(地域での会議のやり方を改善する必要があると思った人61%)が見えた。</li> </ul> <p>3 地域活動に関して取り組むべき課題を明確にする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「公民館・地域活動に関するアンケート」の実施や「地域診断プログラム」の開発により、住民の意識や地域の現状に応じて、地域活動に対して取り組むべき課題が見えてきた。</li> </ul>	<p>A 十分に得られている</p> <p>B 概ね得られている</p> <p>C あまり得られていない</p> <p>D 全く得られていない</p>		
	(10) 事業の今後について、どのように進めていくのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館職員の更なる地域活動支援の力量形成を図るため、継続してファシリテーション能力向上の研修や各館での実践を行う。</li> <li>・地域課題解決の取り組みを全市に拡大する。</li> <li>・地域課題解決の取り組みの際に、地域診断プログラム活用し、検証していく。</li> </ul>	<p>A 十分に検討されている</p> <p>B 概ね検討されている</p> <p>C やや不十分に感じられる</p> <p>D 抜本的な見直しが必要</p>		

★全体を通して、総評をお願いいたします。(戴いた御意見は今後の取り組みに反映させていただきます。)